

かっこいい庭園は自由だ

庭石は庭園の代表的素材のひとつですが、現代の私たちの住まいや社会の中では、特殊な空間でしかお目にかかれないものです。

現代の生活空間の多くは、コンクリートや鉄、アルミニウム、ガラス、加工木材、その他工業製品で構成され、これらの素材との調和を図ることを考える必要があります。庭園の石組においても、人の手の加わった石材や、これまでは庭石として使用されなかった石材、さらには枕木などの石材以外を素材として用いる新し

い試みが盛んです。また、現代空間の持つ時間的特性や、さらには仮設性も現在のガーデンデザインが視野に入れておくべき課題です。

じっくりと手間をかけて作られたものは味わい深く、そこにこそ価値がありますが、現代ではすべてのプロジェクトに期待出来ることではありません。むしろ時間の限られた条件のなかから生まれるスピード感のある現代ならではの自由な表現に、新しい可能性がありそうです。



ガーデニングを楽しむ庭。花壇の中に配置した小さな景石と細長い切石は、手入れの時に飛石として機能する。



屋上庭園にブランコ。コンテナを飾ってもよいし、小鳥の餌台として使ってもよい。



庭の中のシャープな線。従来は石材としてしか使われていなかった根府川石という素材が、庭石としての新しい使われ方により、これまでに無いデザインを実現している。



遊びの庭。ガーデンウォールがあることで庭の可能性が広がる。手前のバードバスは石臼を利用したもので、景石も配置して小さな水面が生まれるように作ってある。観賞の対象としても大切な要素として計画した。



円形部分を増設して、利用度の向上したテラス。ワンポイントの花鉢を置くなどして、景観的にも楽しかった。



ガラス作家のための庭。さりげなく、かっこよく使えて、個性も感じさせたいものだ。

かっこいい庭園は調和しつつ個性的だ

龍安寺庭園の色世界にはモダンを感じたのですが、あの色彩群の成立には時間の積み重ねが反映されています。本物が時間を経てさらに味わいを深めたとき、これを古格と呼びます。そこにはほかにはない新鮮味と同時に調和があります。

調和というものは、時間の経過が生み出すことも事実ですが、はじめから何か周囲と違和感がある庭園や、

がんばりすぎて無理のある庭園はやっぱりかっこ悪いものです。違和感を生じさせないためには、バランス感覚とディテールの収まりが大切です。

人と違うファッションを着るのが個性ではなく、人と同じ服を着ていても滲み出てくるのが個性です。落ち着きのなかにもきらりと光る個性を感じる庭。心がけたいものです。



野鳥の訪れる泉。スモールガーデンに似合う水景として、泉を提案したい。